

「令和 5 年度底生動物調査」における  
河川水辺の国勢調査を行う上での  
猪名川における補足事項(案)

## 1. 作成・運用に向けたロードマップ（案）

これまで、河道掘削モニタリング及び簡易魚道モニタリングを実施してきたが、今後は河川水辺の国勢調査を活用して猪名川・藻川全体の環境変化の把握及び評価を実施する新たな取り組みを行っていくために、「河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)」(以下、「補足事項(案)」)を作成し、令和2年度から運用している。(表-1)。

## 2. 委員からの主な指摘と対応

令和3年度の猪名川自然環境委員会では、「魚類調査」の調査結果のとりまとめ及び考察・評価の補足に対する指導・助言をいただいた(表-2)。

## 3. 補足事項（案）の更新

いただいた指導・助言を基に、「補足事項（案）」の更新版を作成し、別紙にとりまとめた。

令和4年度の猪名川自然環境委員会では、令和5年度の河川水辺の国勢調査の対象となる底生動物調査について内容を確認する。

表-1 「河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)」の作成・運用に向けたロードマップ  
(令和2年度 第29回猪名川自然環境委員会での提示資料)

検討項目	平成30(2018)年度				令和元(2019)年度				令和2(2020)年度				令和3(2021)年度				令和4(2022)年度				令和5(2023)年度				令和6(2024)年度				令和7(2025)年度			
	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月	4月	7月	10月	1月
河川水辺の国勢調査を行う上での猪名川における補足事項(案)																																
本資料の考え方・骨子の整理																																
本資料の作成・更新																																
猪名川自然環境委員会における指導・助言																																
河道掘削箇所のモニタリング・簡易魚道のモニタリング																																
河道掘削モニタリング計画																																
河道掘削箇所のモニタリングの実施																																
簡易魚道モニタリング計画																																
簡易魚道のモニタリングの実施																																
簡易魚道のモニタリング結果のまとめ																																
本資料の運用によるモニタリング																																
(河川水辺の国勢調査)																																
工事箇所環境配慮																																
工事予定箇所の現地確認																																
工事予定箇所の環境面からの評価																																

表-2 委員からの主な指摘と対応(第31回猪名川自然環境委員会、第25回猪名川自然環境委員会 構造検討部会)

主な論点	質問・意見の要約				対応		掲載ページ
	内容	第31回委員会 (R4.1.27)	第25回部会 (R4.10.28)	内容			
調査結果とりまとめの補足	縦断連続性に関する指標種が4種に限定されているが、テナガエビやモクズガニなどの種を定めるのではなく、テナガエビ科にしていきたい。合わせてヌマエビ科も指標種に入れていただきたい。	○	—	— (令和3年度猪名川自然環境委員会の結果を踏まえて、公表時点で修正済)		資料-3 (別紙) P.27-29 参照	
	「止水性魚類等」や「止水性」の表現について、指標種の多くは止水域を一時的に利用するものの流水性の種であるため、再考していただきたい。	○	—	— (令和3年度猪名川自然環境委員会の結果を踏まえて、公表時点で修正済)		資料-3 (別紙) P.24-26 参照	
考察・評価の補足	猪名川・藻川の下流区間の淡水魚類の多様性は、氾濫原の一時的水域や一時的水域と河川間の水路が重要な役割を果たしている。また、汽水域(感潮区間)や干潟等の環境も重要であることから、これらの区間の生息場所の拡大につながる魚類層に着目して考察・評価を行っていただきたい。	○	—	— (令和3年度猪名川自然環境委員会の結果を踏まえて、公表時点で修正済)		資料-3 (別紙) P.29 参照	
		○	—	ご指導・ご助言に基づき、令和4年度の河川水辺の国勢調査(魚類調査)結果も活用し、汽水域や干潟等の環境の拡大につながる魚類相にも着目してとりまとめを行った。		資料-2 参照	
用語の修正	対象とする調査地点「湿地群落」について、生息場として捉えるのであれば、「湿地群落」ではなく「湿地」という名称にすればよい。	—	○	ご指導・ご助言に基づき、名称を「湿地」に変更した。		資料-3 (別紙) 該当箇所	
調査対象環境区分(湿地)の選定方法	調査対象環境区分(湿地)の選定の方法について補足事項(案)に記載する必要がある。	—	○	委員からのご指導・ご助言及び現場指導の結果に基づき、藻川分派～藻川合流間の猪名川でのワンド・たまり等及び汽水域～淡水域の自然環境の状況を把握するため、補足地区①の位置を変更した。		資料-3 (別紙) P.15-16 参照	